

2 学年

① 薬学部で行われる研究とは？ 薬学部で学ぶことはどんなこと？

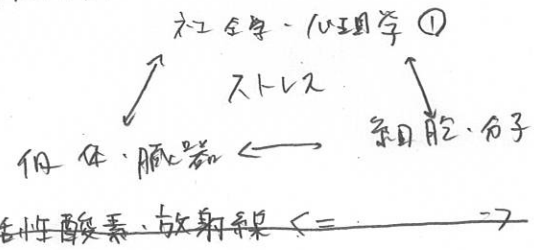
- 医薬品などの薬品に関する研究を行う
- 1: 教科書科目
- 2: 基礎科目 + 実験
- 3: 専門科目 + 実験
- 4: OSEF・CBT
- 5: 実習・実習・研究・国試対策
- 6: 国家試験

② 薬学部や薬学について疑問に思っていることなど、なんでも

副作用のせい  
 (講義) ① 糖質制限のストレスは、運動や、ストレスのストレス  
 能動で、2倍に効果がある。

③ 講義ノート

(薬の力) 1. 病気の原因理解 2. 薬の治療による標的の発見  
 2. 生命を維持する仕組みを理解  
 3. 生命の本質を理解  
 (生命の力?) 宇宙(エントロピー増大) <=> 生命(エントロピー増大の法則に抵抗)  
 (ストレス?) 生命以外の環境からの圧力 → 疾患  
 (生き残り?) ストレスに随応する → 生き残り → 疾患  
 → ① 心理的ストレス ② 物理的ストレス ③ 化学的ストレス ④ 生体内因ストレス  
 ⑤ 生物学的ストレス



細胞は、外部からのストレスに対し、適応する。

<疑問>

\* ① と ②については講義の前には記入しておくようにしましょう。

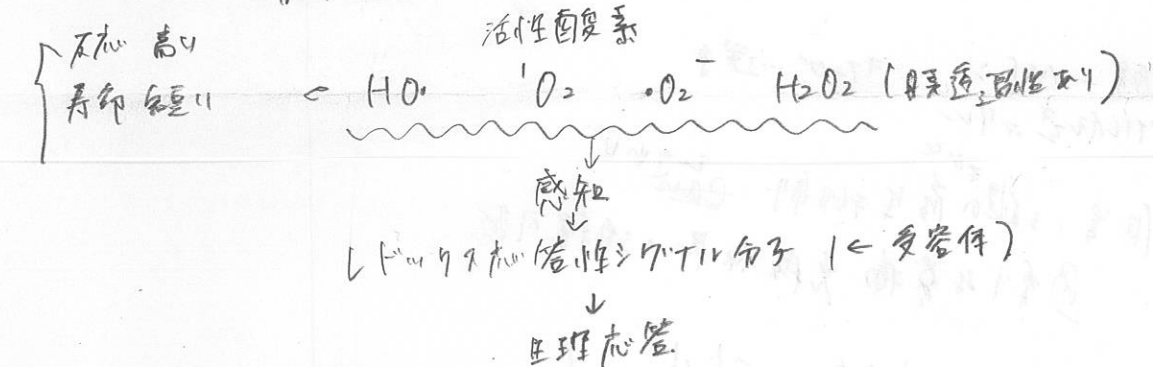
↓ 温度受容体 浸透圧受容体(?) 電圧受容体(?)

講義ノート ① 温度受容体 → やりかた

ほとんどの温度受容体は TRP 家族のメンバー (トウガラシに反応する TRP 家族) → 消化して (トウガラシの成分) → 温度受容体 → X-線

小腸のストレス... (異常なストレス、ウイルス感染、炎症) → TRP 家族のメンバー → 温度受容体 → X-線

老化ストレス... (活性酸素が原因) → 組織の破壊 → 老化現象の原因  
 抗酸化物質 → 老化現象の抑制 → 寿命延長  
 通常食の 8分目、7分目の方が長生きする。  
 = カロリー制限



<シグナル伝達 = 情報伝達>  
 ・ シグナル伝達分子が細胞内に伝わる。  
 ・ 細胞が環境に反応してどうするか?

④ 感想、上記の質問・疑問への答え

ストレスはいろいろな種類がある。私は精神的なストレスを一番感じる。  
 細胞にも影響があり、糖尿病などの病気にも関係があると知られている。

\* このノートは次週の水曜日までに 本田 へ提出してください。後日、講義を担当された先生に提出いたします。

(メモ)  
 ストレスは生命の  
 1. 成長を促す  
 2. 老化を遅らせる  
 3. 免疫系を強化する  
 ストレス、生きる力